

第36回 金沢地区沖底船組合員大会  
金沢船員会総会

2月10日、石川県漁業協同組合金沢支所会議室で「第36回金沢地区沖底船組合員大会・金沢船員会総会」を開催し、11隻の組合員36人が出席した。

はじめに物故船員と能登半島地震・奥能登豪雨で犠牲になられた方々への黙とうをささげた後、熊谷勝明北陸支部長が開会あいさつを行い、議長に浅川健司会長を選出し議事に入った。

報告事項では、令和7年度の支部活動報告および船員会の活動報告、会計報告が行われ、満場一致で承認された。審議事項では、底曳網船の令和8年度労働協約改定要求について、本組合の地区漁船の統一要求内容を基本とし、4月に開催する北陸3地区（三国・金沢・加賀）の合同役員会で要求内容を取りまとめ7月末に船主団体である金沢支所漁業実行組合と金沢支所船主相互会へそれぞれ要求書を提出し、今次労働協約改定交渉に臨むこととした。

また、金沢船員会の令和8年度活動方針として、安全操業ならびに管理型漁業の促進を図り、生産性の付加価値向上を目指すとともに、「後継者の確保・育成」に労使協力して取り組み、若者が定着する魅力ある職場づくりを構築させるため、沖合底曳網漁業の維持・存続を推進する活動を推し進めていくことが満場一致で承認された。

最後に浅川会長の「健康に留意し、各船協力し合い安全操業に努めよう」との掛け合いとガンバロウ三唱の音頭で組合員大会を終えた。

「海員だより」